

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
経営学部	情報マネジメント学科	教授	浅沼 大樹	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	基礎数学 情報活用法 II 非営利組織経営論 情報マネジメントセミナー ビジネスと情報 ロジカルシンキング演習 ゼミナール I・II		公表
(2) 大学院担当科目	情報経済学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅱ 研究活動

1－1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	地域資源の循環を促す地域連携強化	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1－2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1－3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日		公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日		公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国		公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動		Reborn—Art Festival2022[後期]経済波及効果測定業務	公表
1	期間	令和5年1月～3月	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	Reborn—Art Festival 2022[後期]経済波及効果測定業務	
	役割	その他	
	主催者・発行元、場所	Reborn—Art Festival 実行委員会	
	対象	市民・石巻市役所・宮城県庁	
	概要	Reborn—ArtFestival2022[後期]実施による宮城県内への経済波及効果の計算と報告書作成	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	教務委員		
2	就職指導委員		
3	開放センター委員		
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
経営学部	情報マネジメント学科	教授	工藤 周平	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	経営戦略論、経営情報システム論、経営情報論、経営学入門、企業組織とマネジメント、フレッシュマンセミナー、情報マネジメントセミナー、ゼミナールⅡ・Ⅲ		公表
(2) 大学院担当科目	経営学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	企業情報システム	東北大学会計大学院	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）	2022（令和4）年 4月1日	情報マネジメント学科の初年次の演習科目であるフレッシュマンセミナーで実践的課題研究プログラムを実施した。令和4年度は「石巻地域コンテンツの魅力向上に関する研究」というテーマで、データの活用に重点をおきながら地域課題の解決方法を考えさせる教育を行った。	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2023（令和5）年 3月23日	ベネッセコーポレーションが発行する「Between」（307号）にて、情報マネジメント学科の入学前教育の取り組みについて発表を行った	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項	2022（令和4）年 4月1日	情報マネジメント学科の初年次と2年次の演習科目であるフレッシュマンセミナーと情報マネジメントセミナーにルーブリックを導入し、学生の学修成果の可視化を試みた	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
該当なし				

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	デジタルトランスフォーメーション推進人材育成教材の開発	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2022（令和4）年8月9日	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	ロボットプログラミング教室	
	役割	教室の講師、進行、学生のとりまとめ	
	主催者・発行元、場所	東松島市矢本西市民センター	
	対象	小学校1～6年生	
	概要	小学1～6年生23名を対象にロボットプログラミング教室を開催した。レゴマインドストームEV3を用い、小学生にプログラミングによってロボットを動かすことを体験してもらった	

活動			
2	期間	2022（令和4）年10月12日	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	小学校プログラミング教育におけるレゴマインドストーム活用方法の検討（令和3年度IK地域研究発表会）	
	役割	発表者	
	主催者・発行元、場所	石巻専修大学・石巻市、石巻市役所	
	対象		
	概要	令和3年度IK地域研究の成果を発表した。小学校のプログラミング授業にEV3を導入することの利点と課題を探り、石巻圏域でプログラミング教育を検討する際の基礎的な知見を提供した	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	情報マネジメント学科主任	1年次と2年次の学生の面談、欠席が目立つ学生や成績不良者の面談、入学前教育の実施と充実化のための検討、オープンキャンパスにおける学科説明、学科会議の開催と進行、情報マネジメント学科の演習科目へのルーブリック導入の検討、学科の特色の見直しと作成	
2			
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
経営学部	情報マネジメント学科	教授	佐々木 万亀夫	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	ビジネスと情報、基礎数学演習、フレッシュマンセミナー、情報システム演習、情報システム管理論、情報マネジメントセミナー、通信ネットワーク論、テーマ演習Ⅰ・Ⅱ		公表
(2) 大学院担当科目	経営情報論特論、情報資源管理論特論、情報資源管理論特殊研究、経営情報学演習（修士課程および博士後期課程）、外国語専門文献研究		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし	該当なし	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	情報資源管理、NPO	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2013(平成25)年度～継続中	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	令和4年度学校評議員会	
	役割	助言・指導	
	主催者・発行元、場所	宮城県石巻商業高等学校	
	対象	教育関係者	
	概要	2022年7月15日（第1回）及び2023年2月7日（第2回）の学校評議員会に参加し、提言・指導を行った。	

活動			
2	期間	2017(平成29)年度～継続中	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	令和4石巻市国民健康保険事業の運営に関する協議会	
	役割	助言・指導	
	主催者・発行元、場所	石巻市国民健康保険運営協議会（石巻市健康部保険年金課）	
	対象	行政機関	
	概要	2023年2月7日（第1回）の書面による会議に参加した。	

活動			
3	期間	2019(令和元)年5月30日～継続中	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	令和3年度旧北上川堤防利活用協議会	
	役割	司会（座長）	
	主催者・発行元、場所	石巻市旧北上川堤防利活用協議会（石巻市建設部河川港湾課）、石巻市防災センター	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	対象	行政機関	
	概要	2023年3月10日（第1回）の書面による会議に参加した。	

活動			
4	期間	2017(平成29)年度～継続中	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	いしのまきNPOセンター理事会	
	役割	理事	
	主催者・発行元、場所	特定非営利活動法人いしのまきNPOセンター	
	対象	市民団体	
	概要	コロナ禍により、パンフレットの配布のみにとどまった。	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	大学院経営学研究科長	大学院研究科長として経営学研究科の運営を行った。	公表
2	大学院委員会委員	大学院学則その他関係諸規定に関する事項、両研究科に共通の課題などについて審議を行った。	
3	石巻専修大学学部長会・大学院委員会合同委員会委員	全学的な教育マネジメントに関する事項、内部質保証の向上に関する事項など、全学的な視点の事項について審議を行った。	
4	日本学生支援機構学資金返還免除者学内選考委員会委員	支援機構に対して学資金の返還免除を受ける候補者として推薦すべき者の選考に関する事項の調査審議を行った。	
5	キャンパス・ハラスメント防止委員会委員（副委員長）	キャンパス・ハラスメントの防止に係る情報収集、研修及び啓発活動に関する業務などを行った。	
6	相談副室長	学生相談室、キャンパス・ハラスメントに関する相談室の副室長としての業務を行った。	
7	石巻専修大学障がい学生支援委員会委員	本学の関係諸機関及び関係教職員と連携し、障がいのある学生に対する組織的な支援体制を整備した。	
8	教員資格審査委員会委員	専任教員、非常勤教員の採用などに関わる審議を行った。	
9	大学院資格審査委員会議長	大学院担当教員の資格認定を行った。	
10	入学試験委員会委員長	次の事項を審議した。(1)入学試験制度及び入学試験方法に関すること、(2)入学試験の実施計画及び準備に関すること、(3)入学試験問題作成の統括に関すること、(4)入学試験受験者の合否判定案に関すること、(5)入学試験情報及び大学紹介情報の提供に関すること、(6)教員が携わる全学的な学生募集のための企画に関すること、(7)入学試験及び入学後に係る調査研究に関すること、(8)その他入学試験に関する必要なこと。	
11	大学院入学試験委員会委員	令和5年度大学院入学試験実施要領について検討した。	
12	特待生入学試験評価委員会委員長	特待生の入学試験評価を行った。	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

13	英語外部検定試験評価委員会委員長	外部検定試験の導入に関しては継続審議中である。尚、各検定試験に対する評価の指標を既に作成している。	
14	石巻専修大学における公的研究費の運営・管理に関わる者 部局責任者	研究活動及び公的研究費の運営及び管理に関わる業務を行った。	
15	研究活動等コンプライアンス委員会委員	不正行為等の防止のため、コンプライアンス教育及び研究倫理教育の定期的な実施に関する業務、啓発活動などの業務を行った。	
16	石巻専修大学研究推進委員会委員	全学的な研究関連資金の獲得や研究支援に関すること、研究倫理、研究費の適正使用に関すること、などの事項を審議した。	
17	学校法人専修大学個人情報保護委員会個人情報部門責任者	個人情報の収集に関する事項、個人情報の利用及び提供に関する事項、などを審議する。但し、今年度に関しては、会議は開かれなかった。	

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
経営学部	情報マネジメント学科	准教授	関口 駿輔	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	経済と社会、経済学Ⅰ、経済学Ⅱ、基礎統計学、応用統計学、データ分析応用、マーケティング入門、ゼミナール		公表
(2) 大学院担当科目	経営学演習		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	都市構造と基礎自治体財政の関係	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	都市構造の地方財政に与える影響	公表
	配分機関	科研費 ☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（１）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2023年3月	
	形態種別	博士論文	
	査読	査読あり	
	標題	コンパクト・シティ政策の効率性	
	執筆形態	単独	
	掲載誌名	東北大学大学院	
	掲載区分		
	出版社・発行元	東北大学大学院	
	巻・号・頁		
	総ページ数	112	
	著者・共著者	関口駿輔	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない			

（２）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			公表
1	発表年月日	2023年9月	
	発表テーマ	基礎自治体財政の効率性に対する都市構造のもたらす影響	
	会議名	日本計画行政学会 2022年度山口大会	
	主催者	日本計画行政学会	
	学会区分	全国大会	
	発表形式	オンライン	
	単独共同区分	共同	
	開催期間		
	発表者・共同発表者	関口駿輔	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2023 年 3 月まで	公表
	活動形態	審議会会長	
	タイトル、種別	石巻市都市計画審議会会長	
	役割	会長	
	主催者・発行元、場所	石巻市役所	
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	ホームページ委員会委員長		公表
2			
3			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
経営学部	情報マネジメント学科	教授	関根 慎吾	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	会計学入門 会計学 会計学（旧カリ） 情報マネジメントセミナー 商業科教育法 コンピュータ会計 財務諸表論 ビジネスと会計		公表
(2) 大学院担当科目	会計学原理特論 簿記論特論 会計学演習 会計学原理特殊研究 簿記論特殊研究 会計学演習		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）	2022/04/12～	Teams を受講生の予習復習に活用する仕組みを構築した。	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2022/09/22	宮城県産業教育研修会にて、「会計的思考と SDGs」をテーマに講演を行い、商業教育のこれからの位置付けを SDGs との関連から考察した。また、授業の導入方法として予祝の手法を用いた学習意欲の向上策を実践した。	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項	2022/9/16 2022/11/10	出前授業（東北生活文化大学高校）にて、SDGs と会計の関わりを考察した授業を、高校生に対して行った。 出前授業（古川学園高校）にて、商業を学習する意義を、SDGs との関わりから考察した授業を高校生に対して行った。	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	教養としての会計学の検討	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022 年 7 月	
	形態種別	学術論文	
	査読	なし	
	標題	貨幣的評価（測定）という会計「公準」	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	會計	
	掲載区分	論文	
	出版社・発行元	森山書店	
	巻・号・頁	202 巻 1 号 28-40 頁	
	総ページ数	13	
	著者・共著者	関根慎吾	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

著書・論文			公表
2	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2023 年 3 月	
	形態種別	学術論文	
	査読	なし	
	標題	教養としての会計学と SDGs	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	石巻専修大学経営学研究	
	掲載区分	論文	
	出版社・発行元	石巻専修大学経営学会	
	巻・号・頁	34 巻 1-8 頁	
	総ページ数	8 頁	
	著者・共著者		
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

著書・論文		
3	言語種別	日本語
	発行・発表の年月	2023 年 3 月
	形態種別	学術論文
	査読	なし
	標題	会計的暖簾の本質に関する考察
	執筆形態	共著
	掲載誌名	石巻専修大学経営学研究
	掲載区分	研究ノート
	出版社・発行元	石巻専修大学経営学会
	巻・号・頁	34 巻 39-46 頁
	総ページ数	8 頁
	著者・共著者	遠藤おり恵
		公表
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない		

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表		
1	発表年月日	該当なし
	発表テーマ	
	会議名	
	主催者	
	学会区分	
	発表形式	
	単独共同区分	
	開催期間	
	発表者・共同発表者	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	2022/09/22	公表
	発表テーマ	会計的思考と SDGs	
	会議名	宮城県産業教育研修会	
	主催者	宮城県教育委員会・石巻専修大学	
	会議区分、講演区分	その他、講師	

受賞学術賞		該当なし	
1	受賞年月日		公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得		該当なし	
1	取得国		公表
	知的財産権の種類		
	出願国		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2019/07/01～	公表
	活動形態	委員	
	タイトル、種別	石巻市公務災害補償等認定委員会	
	役割	委員	
	主催者・発行元、場所	石巻市	
	対象	石巻市	
	概要	公務災害の補償に関する事案の審議	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1			公表
2			
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
経営学部	情報マネジメント学科	教授	日野 博明	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	フレッシュマンセミナー、情報活用法Ⅰ、プログラミング論、プログラミング基礎、情報マネジメント特別科目Ⅲ（プログラミング）アルゴリズム論、アルゴリズムとデータ構造、情報マネジメントセミナー、データベース論、テーマ演習Ⅰ、テーマ演習Ⅱ、情報科教育法		公表
(2) 大学院担当科目	シミュレーション論特論、経営統計学特論、シミュレーション論特殊研究、		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書	2022年9月	アルゴリズム論の講義プリントを作成	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	多読	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2016年4月～	公表
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割	宮城県東松島高等学校評議員	
	主催者・発行元、場所	東松島高等学校	
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	人を対象とする倫理審査委員会委員長		公表
2	情報教育センター委員会委員		
3	入学試験委員会委員		
4	大学院資格審査委員会委員		
5	高大接続研究事業東松島高校担当		
6	石巻専修大学スポーツ推薦入学試験評価委員会 委員長		
7	研究助成専門委員会委員		

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
経営学部	情報マネジメント学科	助教	三橋 勇太	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	プログラミング応用、フレッシュマンセミナー、ゼミナールⅡ、ホスピタリティ論、情報マネジメントセミナー、地域 ICT 戦略論、情報活用方Ⅰ		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	科目名：情報処理演習	大学等の名称：尚絅学院大学	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	観光意思決定過程の構造解明	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022年12月31日	
	形態種別	研究論文(大学、研究機関等紀要)	
	査読	あり	
	標題	新型コロナウイルス感染症流行前と流行後の観光動機の変化	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	日本観光学会誌	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	日本観光学会	
	巻・号・頁	63号・1～12	
	総ページ数	12	
	著者・共著者	三橋勇太	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			公表
1	発表年月日	2022年9月3日	
	発表テーマ	スマホアプリを活用した地域活性化のためのデータ活用と効果検証：石巻市を事例として	
	会議名	2022年度社会情報学会全国大会	
	主催者	社会情報学会	
	学会区分	全国大会	
	発表形式	口頭(一般)	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	09/2-3	
	発表者・共同発表者	三橋勇太・齋藤玲・高橋華実・大和友大朗	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

学会発表			
2	発表年月日	2022年11月13日	公表
	発表テーマ	スマホアプリを活用した地域振興と観光コンテンツ活用への可能性	
	会議名	日本観光学会 第115回 全国大会（日本観光学会・総合観光学会合同全国大会）	
	主催者	日本観光学会・総合観光学会合同	
	学会区分	全国大会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	11/12-13	
	発表者・共同発表者	三橋勇太・齋藤玲・高橋華実・大和友大朗	
			個人研究費課題 ☐ 該当 ☒ しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

IV 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	留学生担任		公表
2	広報委員会		
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
経営学部	情報マネジメント学科	教授	湊 信吾	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	オペレーティングシステム論、マルチメディア通信論、情報活用法Ⅱ、子どもとマルチメディア、情報システム設計論、情報マネジメントセミナー、テーマ演習Ⅰ、テーマ演習Ⅱ、ロジカルシンキング演習 (教職に関わるもの) 情報科教育法		公表
(2) 大学院担当科目	情報ネットワーク論特論、情報システム構成論特論、情報ネットワーク論特殊研究、情報システム構成論特殊研究、経営情報学演習		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	人文情報処理	東北大学	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	インターネット、人工知能におけるプログラミングとプログラミング教育	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2023 年 3 月	
	形態種別	研究ノート（大学紀要）	
	査読	なし	
	標題	新高等学校指導要領が大学情報教育に与える影響について	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	石巻専修大学 研究紀要	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元		
	巻・号・頁	34 号、93 頁－97 頁	
	総ページ数	5	
	著者・共著者	湊 信吾	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2018/07～	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	石巻市環境審議会	
	役割	助言・指導、企画、運営参加・支援	
	主催者・発行元、場所	石巻市	
	対象	市民団体、行政機関	
	概要	石巻市環境基本計画の点検・評価を主な業務とし、石巻市環境審議会において委員、並びに専門部会の委員として活動している。	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	経営学部教務委員長	経営学部の教務に関わる議題の審議、学部内の教務事項の調整	公表
2	広報委員会委員	大学の広報並びに入試広報に関わる議題の審議	
3			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
経営学部	情報マネジメント学科	准教授	渡邊 壽大	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	基礎統計学 地域産業論 データ分析基礎 ゼミナールⅡⅢ 情報活用法Ⅰ 情報マネジメントセミナー		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	現代社会の諸課題（生活・地域） 現代社会の諸課題（経済・産業）	共立女子大学	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）	2022 年 4 月 1 日 ～	データ分析基礎の授業で、PC を活用して経済分析が実施できるように理論的な学習よりも、実践を重視し、多くの分析を経験できるようにした。	
(2)	作成した教科書、教材、参考書	2022 年 4 月 1 日 ～	復習が重要という位置付けをしており、自習時にも授業内容を理解できるよう、分析にあたっての細かな手順等を示した授業資料を作成した。	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	港湾配置のあり方と広域港湾運営に関する研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	水道コンセッションをめぐる政策決定過程と住民の理解度に関する調査	公表
	配分機関	石巻専修大学 ☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2022 年 6 月	
	形態種別	学術論文	
	査読	有	
	標題	海上・航空輸送が拮抗する貿易品目の特定と輸送モード選択要因の分析	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	日本物流学会誌	
	掲載区分		
	出版社・発行元	日本物流学会	
	巻・号・頁	30 号 131-138	
	総ページ数	8	
	著者・共著者	渡邊壽大	
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

著書・論文			
2	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2022 年 10 月	
	形態種別	学術論文	
	査読	有	
	標題	国内物流における RORO 海上輸送の選択要因	
	執筆形態	共著	
	掲載誌名	日本海運経済研究	
	掲載区分		
	出版社・発行元	日本海運経済学会	
	巻・号・頁	56 号 61-69	
	総ページ数	9	
	著者・共著者	松田琢磨・渡邊壽大	
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

--

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			公表
1	発表年月日	該当なし	
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	該当なし	
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

IV 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			公表
1	発表年月日	該当なし	
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			公表
1	受賞年月日	該当なし	
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			公表
1	取得国	該当なし	
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	2022 年 1 月～	
	活動形態		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	タイトル、種別	明日の仙台塩釜港を考える懇談会	
	役割	委員	
	主催者・発行元、場所	宮城県	
	対象		
	概要		

活動			公表
2	期間	2022 年 6 月～2023 年 3 月	
	活動形態		
	タイトル、種別	石巻市立地適正化計画策定懇談会	
	役割	委員	
	主催者・発行元、場所	石巻市	
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	IR 推進委員会 委員長		
2			
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表
